

 LOGIMETER

# ロジメーター API連携機能

v.29 2026/5/15 株式会社 KURANDO

**Confidential**

本書に含まれる情報は、貴社内部でのご検討、予算作成の目的のために提供されるものです。  
貴社内でのご使用、複製、開示は、この目的のために必要な範囲でのみお願いいたします。  
記載の内容は現段階における計画であり、変更が発生する場合があります。

1. ロジメーター API連携機能の種類
  2. 技術仕様について
  3. 準備
    - 3-1. 準備の手順
    - 3-2. API連携用アプリケーション作成の申請
    - 3-3. 認可コードを取得
  4. 業務データAPI
    - 4-1. 業務データAPIの手順
    - 4-2. CSVファイルのダウンロードの詳細
  5. 進捗データAPI
    - 5-1. 進捗APIの対象データ
    - 5-2. 進捗APIの仕組みと2つのパターン
    - 5-3. (A) データ取込API
    - 5-4. (B) データ変換API
    - 5-5. 進捗APIの手順
    - 5-6. (A) データ取込API 予定データの送付ファイル
    - 5-7. (A) データ取込API 実績データの送付ファイル
    - 5-8. (A) データ取込API 実績データの注意点
    - 5-9. (A) データ取込結果の確認 (画面)
    - 5-10. (B) データ変換API 予定データの送付ファイル
    - 5-11. (B) データ変換API 予定データの変換ルール
    - 5-12. (B) データ変換API 実績データの送付ファイル
    - 5-13. (B) データ変換API 実績データの変換ルール
    - 5-14. (B) データ変換結果の確認 (画面)
    - 5-15. 障害発生時のリカバリ方法
- (参考) Postmanを使用したCSVダウンロード

# 1. ロジメーター API連携機能の種類

ロジメーターの外部システム連携はREST APIを利用します。業務データAPIと、進捗APIの2種類がございます。なお、各種API利用時には、OAuthに準拠した認証・認可処理を実施します

API種別	入出力	対象データ	想定頻度	特記事項
業務データ	出力	CSVファイル - 売上 - 作業予実 - 作業 - 出勤 - 間接收支 - 目標利益率 (管理グループ/荷主)	1~7日に一度 大量	<ul style="list-style-type: none"><li>・画面のCSVダウンロード機能に準ずる</li><li>・CSVファイル作成をリクエスト(POST)して作成IDを取得、その後作成IDをパラメータにCSVファイルを取得(GET)する</li><li>・管理グループ単位</li></ul>
	入力	売上 予実 間接收支	1日1回	<ul style="list-style-type: none"><li>・画面の値更新に準ずる</li><li>・売上/予実/間接收支をPUTする</li><li>・1件単位</li></ul>
進捗	入力	進捗	15分~1時間に一度 少量(1-10レコード程度)	<ul style="list-style-type: none"><li>・CSVファイルを送信する場合は、データ変換機能を利用することで、入力フォーマットに一定の自由度あり</li><li>・アップロード行制限1,000行/回。変換機能は、最大10,000行を受付可能だが、変換後に1,000行以内であること</li></ul>

※ データ出力量は月間利用限度を設定する予定です

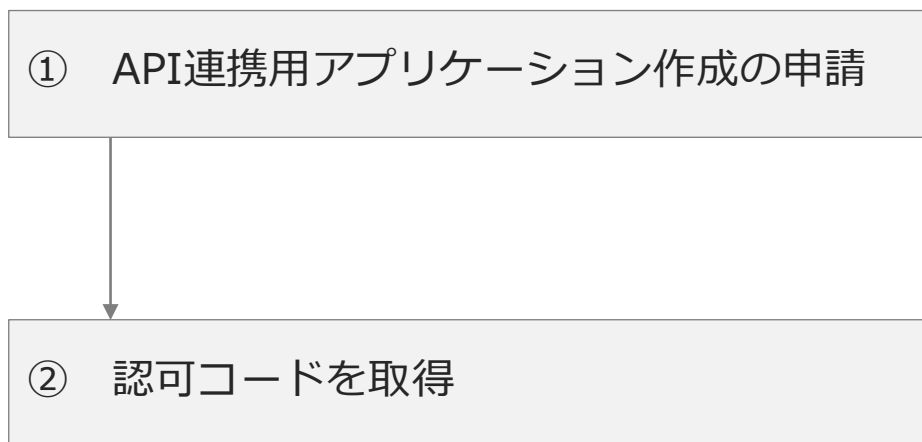
## 2. 技術仕様について

本資料はAPI連携の概要を説明するための資料です。技術仕様については、下記のWebページをご覧ください。なお、各APIの接続先は、将来変更になる可能性があります。そのため、設定ファイル等で変更がしやすいように実装することを推奨いたします

<https://api-docs.kurando.io/>

## 3-1. 準備の手順

ロジメーターで、REST APIを利用する場合は、事前に認証・認可サービスを使って、認可コードを取得することが必要です。この準備はシステム開発ではなく、手動で行います



## 3-2. API連携用アプリケーション作成の申請

1. 弊社営業担当からAPI連携用アプリケーション申請書をお送りいたします  
必要事項をご記入のうえ、ご返送いただきますようお願いいたします
2. 申請が承認されましたら、弊社より以下の情報をお伝えします  
その情報を用いて、アプリケーションを開発してください
  - ・クライアントID
  - ・クライアントシークレット
  - ・認可URL

## 3-3. 認可コードを取得

認可URLへアクセスすると、アクセス許可の確認画面が表示されます

(認証が未実施の場合、ログイン画面に遷移し、ID・パスワードを入力しログインした後、再度認可URLへ遷移します)

許可ボタンを押下すると、レスポンスとして指定されたコールバックURLにリダイレクトされます

コールバックURLのパラメータに当該ユーザーの認可コードが記載されます

### アクセス許可の確認画面



### レスポンス

`https://[コールバックURL]?code=[認可コード]`

code: 取得した認可コード

取得した認可コードは10分間のみ利用可能

※ ユーザーさまがシステムベンダーで、マルチテナントシステムにてAPIを利用する際は、認可コードの取得に加え、A認可コードを使った初回のアクセストークンの取得も、自動で実行できるようシステム開発ください

## 4-1. 業務データAPIの手順

ロジメーターでは、画面から業務データのCSVファイルをダウンロードができますが、同等の機能をREST APIで提供します。手順も画面から実施する場合と同じく、CSVファイル作成依頼後、完成したファイルを取得します。また売上と予実、間接収支は画面から入力するのと同等のPUT APIを用意しています

### CSVファイルのダウンロード



### データの更新



※ 初回のアクセストークンは認可コードから取得ください。  
その後は、リフレッシュトークンからアクセストークンを取得します。  
初回は手動で実施し、その後は自動で実施するよう実装ください。

## 4-2. CSVファイルのダウンロードの詳細

CSVファイルをダウンロードする際は、リクエスト時にどのデータを取得するか、種類番号を指定してください。CSVファイルには、出力上限と同時リクエスト上限があります

### CSV出力対象となるデータの種類

データ	種類番号
売上	1
作業予実	2
作業	3
出勤	4
間接収支	5
管理グループ 目標利益率	6
荷主 目標利益率	7

### 出力数の上限

- ・ 最大取得日数：32日分
- ・ 最大取得行数：100,000行

※ 内容は画面からCSVダウンロードする場合と同じです。  
 そのほか、日次、月次等で利用制限を設ける場合がございます

### 非同期処理と同時リクエスト上限

CSVファイルのダウンロードは、ファイル作成のリクエストをしたあと、ファイルができあがるまで待ち、その後にファイルのダウンロードをリクエストするという非同期処理です。できあがっていない場合は、時間を置いて再度ダウンロードをリクエストください。

1ユーザーにつき、最大5ファイルのリクエストを同時に受付ます。ファイルの作成完了順序はファイルサイズによって異なります。

# 5-1. 進捗APIの対象データ

進捗APIはロジメーターのマスタに設定した工程に対して、数量データ（任意で工数データも）を送信し更新します。更新は予定のリクエストと、実績のリクエストが分かれており、それぞれ別に更新します

## パフォーマンスボード グラフの画面



## 実績データ 登録モーダル



出荷 実績の作成

開始-終了 10 : 30 - 12 : 00

作業量 300 累計 1,350

控下工数 2.5

保存 キャンセル

実績データ

## パフォーマンスボード カードの画面



複数作業の進捗の最新情報をとりまとめて表示

## 5-2. 進捗APIの仕組みと2つのパターン

進捗APIには、WMSから出力できるCSVの形によって、2つの連携パターンがあります

### 仕組みと2つのパターン



### キー情報となる工程マスタID

工程：  
進捗をとる単位



設定 > 工程 > CSV出力で、  
工程マスタの一覧を出力して工程マスタIDを確認

### 工程マスタID

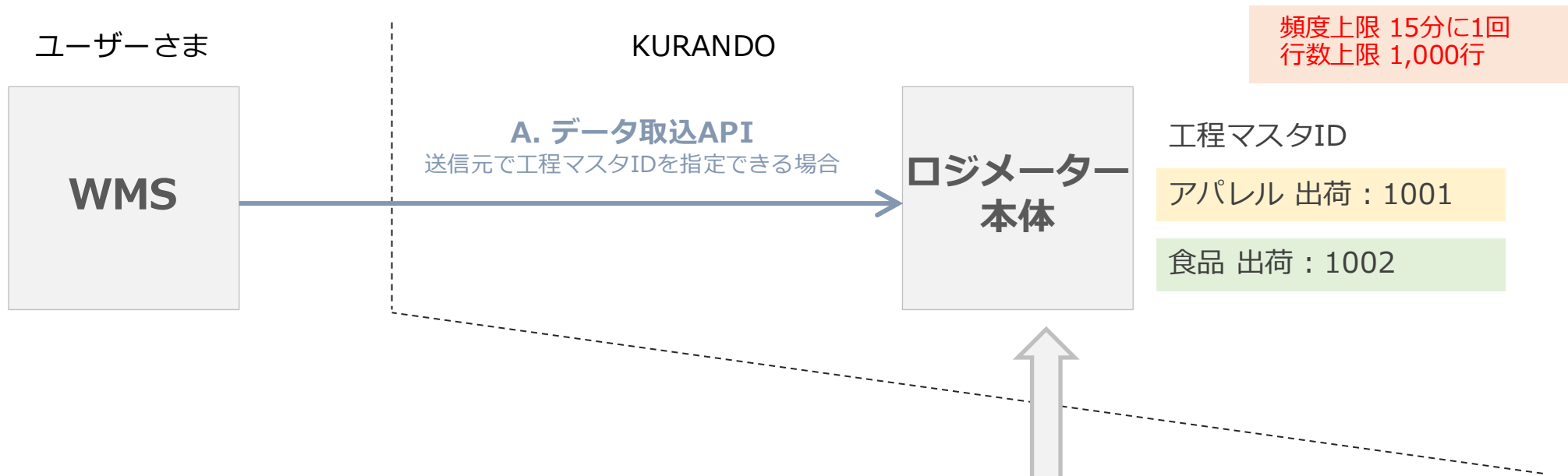
ID	管理グループ	工程名	表示色	工程ラベル	有効	...
165	1F	入荷	赤	設定なし	1	1
166	1F	ピッキング	水	設定なし	1	1
1	1F	梱包	青	設定なし	1	1

### メリット/デメリット

パターン	メリット	デメリット
(A) データ取込API 送信元で工程マスタIDを指定できる場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パフォーマンスがいい</li> <li>・工程マスタの変更がユーザーだけで可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WMS 改修費 がかかる（場合がある）</li> </ul>
(B) データ変換API KURANDO側でキー情報のマッピングを希望する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WMS 改修費 が少ない（場合がある）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・追加のサービス費用¥3,000/月がかかる ※価格は26年3月現在</li> <li>・送信制限にかかりやすい</li> <li>・工程マスタ変更時、ユーザーとKURANDO双方に変更が発生</li> </ul>

## 5-3. (A) データ取込API

ユーザーさまで、WMSから出力の形式を制御でき、工程マスタIDを指定できる場合に使うパターンです。パフォーマンスがよく、工程マスタの変更がユーザーさまの操作だけで済むメリットがあります。一方で、デメリットとして、WMS側に改修費がかかる場合があります



WMSの既存データ

オーダーid	ジャンル	商品	ロケ	数量	開始	終了
111	アパレル	A	A-203	70	2023/03/10 10:10:00	2023/03/10 10:20:00
111	アパレル	A	A-205	120	2023/03/10 10:00:00	2023/03/10 10:30:00
112	食品	C	F-311	110	2023/03/10 10:10:00	2023/03/10 10:20:00
112	食品	B	F-346	140	2023/03/10 10:00:00	2023/03/10 10:30:00
113	食品	C	F-311	50	2023/03/10 10:10:00	2023/03/10 10:20:00

連携用ファイル

工程マスタID	日時	実績数量	数量タイプ ※
1001	2023-03-10 10:30	190	1
1002	2023-03-10 10:30	300	1

お客さまで  
変換して出力

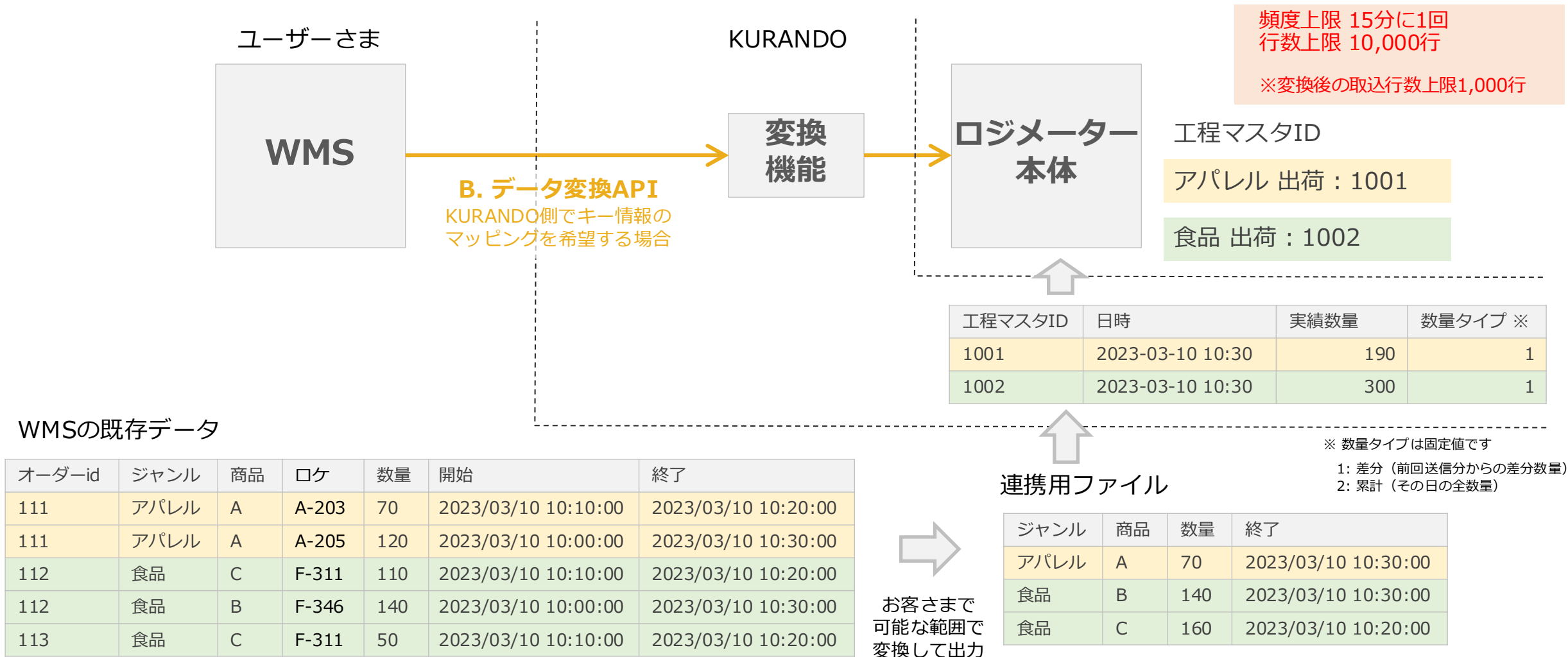
※ 数量タイプは固定値です

1: 差分 (前回送信からの差分数量)

2: 累計 (その日の全数量)

## 5-4. (B) データ変換API

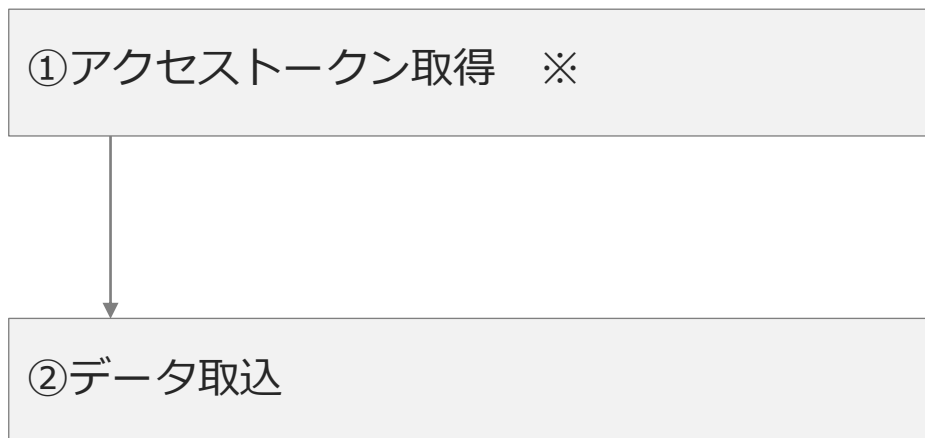
ユーザーさまで、WMSから出力の形式を制御が難しく、KURANDO側でキー情報のマッピングを希望する場合に使うパターンです。WMS改修費が少なくなるメリットがある一方で、API利用費に加えて月額追加サービス費用がかかる、追加送信制限がシビア、工程マスタ変更時にユーザーとKURANDO双方に変更が発生するというデメリットがあります



## 5-5. 進捗APIの手順

パターンごとに利用するAPIが異なります。(B) データ変換API場合は、データ変換後、自動でデータ変換まで実施されます。なお、取込結果、変換結果は画面からのみ可能です（後述）

### (A) データ取込API



※ 初回のアクセストークンは認可コードから取得ください。  
その後は、リフレッシュトークンからアクセストークンを取得します。  
初回は手動で実施し、その後は自動で実施するよう実装ください。

### (B) データ変換API



データ取込は、データ変換後で、自動で実施されます  
ユーザーさまで特別な処理は必要ありません

## 5-6. (A) データ取込API 予定データの送付ファイル

(A) データ取込APIに渡すファイルフォーマットは下記になります

### 共通項目

項目	内容
ファイル形式	CSV
ファイル名	任意 半角英数字を推奨
ファイル拡張子	.csv
項目区切り	半角カンマ
項目囲い	なし
エスケープ処理	なし
改行コード	LF または CRLF
文字コード	UTF-8

### 項目定義

列番	項目	必須	型	説明
1	工程マスタID	Y	Integer	
2	日付	Y	Date	YYYY-MM-DD 形式
3	累計予定数量	Y	Integer	整数10桁まで

### CSVファイルの例

工程マスタID	日付	累計予定数量
8338837	2023-03-10	3000
8338839	2023-03-10	1800
8338873	2023-03-10	2000
8338879	2023-03-10	2400

# 5-7. (A) データ取込API 実績データの送付ファイル

(A) データ取込APIに渡すファイルフォーマットは下記になります

## 共通項目

項目	内容
ファイル形式	CSV
ファイル名	任意 半角英数字を推奨
ファイル拡張子	.csv
項目区切り	半角カンマ
項目囲い	なし
エスケープ処理	なし
改行コード	LF または CRLF
文字コード	UTF-8

## 項目定義

列番	項目	必須	型	説明
1	工程マスタID	Y	Integer	
2	日時	Y	DateTime	作業の登録時刻を入力 YYYY-MM-DD HH:MM 形式
3	実績数量	Y	Integer	整数10桁まで
4	数量_タイプ	Y	Integer	1: 差分数量 2: 累計数量
5	実績投下工数	Y※	Double	整数5桁、小数1桁まで ※工程マスタで「工数を取得するロジメーター作業」の設定がある場合は空欄可
6	投下工数_タイプ	Y※	Integer	1: 差分数量 2: 累計数量 ※工程マスタで「工数を取得するロジメーター作業」の設定がある場合は空欄可

## CSVファイルの例

工程マスタID	日時	実績数量	数量_タイプ	実績投下工数	投下工数_タイプ
8338837	2023-03-10 10:30	190	1	0.8	1
8338873	2023-03-10 11:20	290	1	1.0	1

## 5-8. (A) データ取込API 実績データの注意点

時刻について注意点がありません。開始時刻は、直前の登録データの終了時刻が設定されます。終了時刻は、インプットファイルの日時（項目定義2の内容）が設定されます。終了時刻は、開始時刻より後ろの時刻となるように注意してください。開始時刻と終了時刻が一致している。または開始時刻より終了時刻の方が早い場合、当該工程のデータは登録されずスキップされます

### 登録データの例

直前の登録データの終了時刻が、  
次のデータの開始時刻に

ピックアップの履歴 ×

開始時刻は、直前の履歴行の終了時刻を設定するようにしてください + 新規

	開始 - 終了	数量	累計	投下工数	生産性
 	09:00 - 10:00	400	400	0.0	-
 	10:00 - 11:30	300	700	0.0	-
 	11:30 - 13:00	200	900	0.0	-

« 1 »»

閉じる

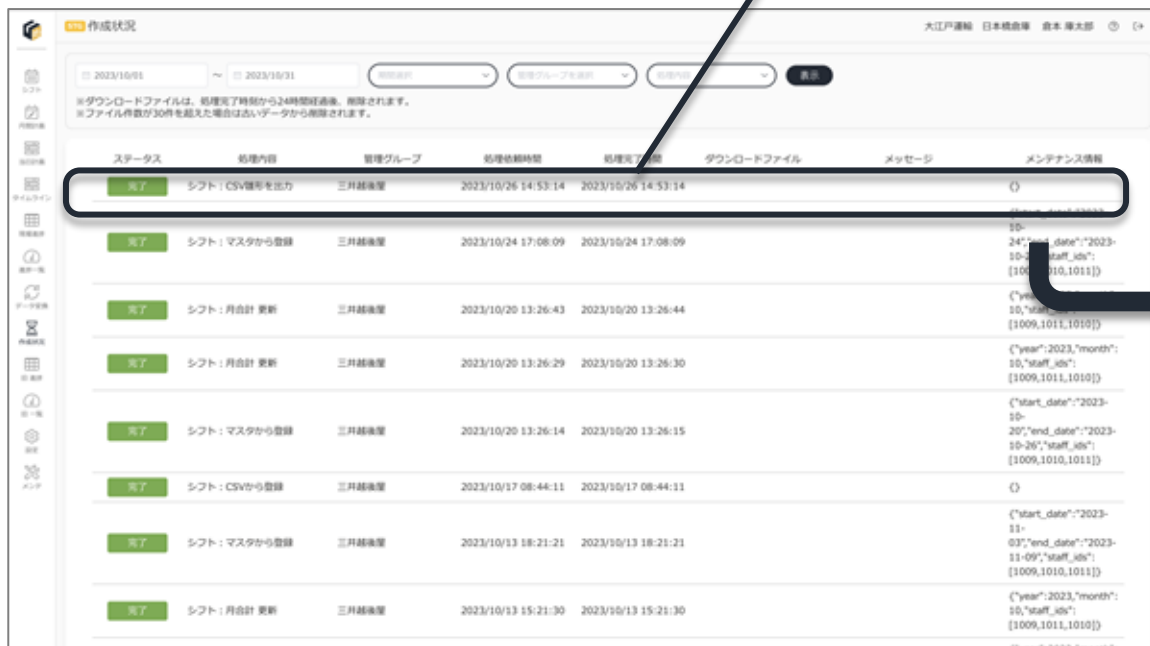
開始時刻 < 終了時刻  
となっていること

## 5-9. (A) データ取込結果の確認 (画面)

ロジメーターの作成状況画面にアクセスすることで、取込結果を確認できます。ステータスが「完了」となった処理のみがパフォーマンスボード画面に登録されます

作成状況画面

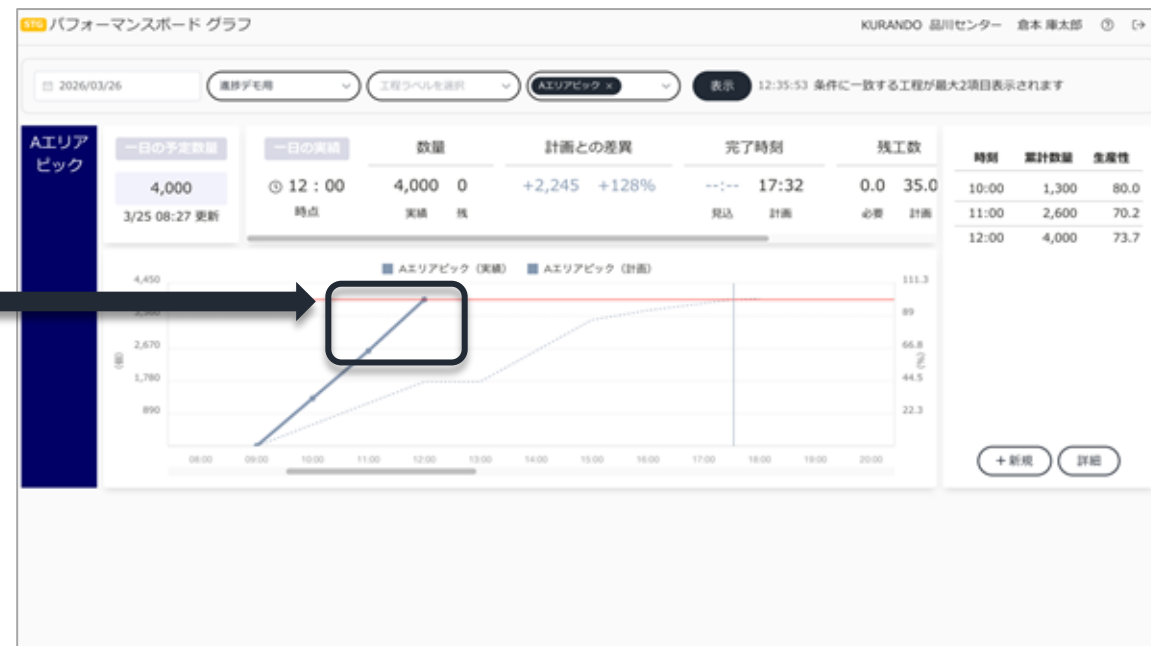
取込処理 実行結果



ステータス	処理内容	管理グループ	処理依頼時刻	処理完了時刻	ダウンロードファイル	メッセージ	メンテナンス情報
完了	シフト: CSV形式を出力	三井越後産	2023/10/26 14:53:14	2023/10/26 14:53:14			
完了	シフト: マスタから登録	三井越後産	2023/10/24 17:08:09	2023/10/24 17:08:09			
完了	シフト: 月合計 更新	三井越後産	2023/10/20 13:26:43	2023/10/20 13:26:44			
完了	シフト: 月合計 更新	三井越後産	2023/10/20 13:26:29	2023/10/20 13:26:30			
完了	シフト: マスタから登録	三井越後産	2023/10/20 13:26:14	2023/10/20 13:26:15			
完了	シフト: CSVから登録	三井越後産	2023/10/17 08:44:11	2023/10/17 08:44:11			
完了	シフト: マスタから登録	三井越後産	2023/10/13 18:21:21	2023/10/13 18:21:21			
完了	シフト: 月合計 更新	三井越後産	2023/10/13 15:21:30	2023/10/13 15:21:30			

パフォーマンスボード画面

反映



## 5-10. (B) データ変換API 予定データの送付ファイル

(B) データ変換APIに渡すファイルのフォーマットには一定の自由度があります。ただし、キー、日付、時刻、登録目的となる数値を含む必要があります

### 共通項目

項目	内容
ファイル形式	CSV
ファイル名	任意 半角英数字を推奨
ファイル拡張子	.csv
項目区切り	半角カンマ
項目囲い	なし
エスケープ処理	なし
改行コード	LF または CRLF
文字コード	UTF-8 または Shift-JIS
ヘッダー行数	任意

### データ列項目の指定

#	含むべき列	必須	内容
1	キー	Y	どの進捗単位のデータかを示すキー列の位置 複数列での複合キー指定可
2	作業日		作業日を含む列の位置
3	計上日		計上日を含む列の位置 (同一作業日の工程の進捗を、計上日別に分けて取得したい場合に利用。考慮が不要な場合は作業日と同一の列を指定)
4	時刻		時刻を含む列の位置
5	数量 予定		数量 予定を示す数値列の位置

### インプットファイルの例

日時	ジャンル	作業	予定
2023-03-10 10:00:00	アパレル	出荷	3000
2023-03-10 10:00:00	アパレル	入荷	1800
2023-03-10 10:00:00	食品	出荷	2000
2023-03-10 10:00:00	食品	入荷	2400



# 5-11. (B) データ変換API 予定データの変換ルール

(B) データ変換APIで送ったインプットファイルを、データ取込できるように変換します。ロジメーター内での処理ですが、ファイルフォーマットの自由度を把握するために参照ください

## 変換ルール

ルールの項目	内容	例	
列番号の指定	キー	キー列の位置。複数列指定可	2,3
	日付	日付列の位置	1
	計上日	計上日列の位置	1
	時刻	時刻列の位置	1
	数量 予定	数量 予定列の位置	4
共通ルール	フォーマット	日付・時刻のフォーマット 登録対象となるデータの時刻が ・0:00:00~23:59:59の場合： 正規表現でフォーマットを指定可能 ・0:00:00~47:59:59の場合： フォーマットは、 「%Y-%m-%d %H:%M:%S」 の形式で固定	%Y-%m-%d %H:%M:%S
	日付変更基準時刻	作業日の切り替え基準の時刻を指定。 不要な場合はnull	null
	ヘッダ行数	ヘッダ行の行数	1
	文字コード	UTF-8 または Shift-JIS	UTF-8
	改行コード	LF または CRLF	LF

## 変換前の例

日時	ジャンル	作業	予定
2023-03-10 10:00:00	アパレル	出荷	3000
2023-03-10 10:00:00	アパレル	入荷	1800
2023-03-10 10:00:00	食品	出荷	2000
2023-03-10 10:00:00	食品	入荷	2400

変換

- (1) キー項目をもとに工程マスタIDを探索 ← **キー項目-工程マスタ対応表の例**
- (2) 日付を日付列から取得
- (3) 計上日を計上日列から取得
- (4) 時刻を時刻列から取得
- (5) 数量 予定を該当列から取得
- (6) 工程マスタID、日付、計上日で  
数量 予定を合計する

キー項目	工程マスタID	計上日設定
8338837	アパレル_出荷	なし
8338839	アパレル_入荷	なし
8338873	食品_出荷	なし
8338879	食品_入荷	なし

## 変換後の例

工程マスタID	日付	累計予定数量
8338837	2023-03-10	3000
8338839	2023-03-10	1800
8338873	2023-03-10	2000
8338879	2023-03-10	2400

## 5-12. (B) データ変換API 実績データの送付ファイル

(B) データ変換APIに渡すファイルのフォーマットには一定の自由度があります。ただし、キー、日付、時刻、登録目的となる数値を含む必要があります

## 共通項目

項目	内容
ファイル形式	CSV
ファイル名	任意 半角英数字を推奨
ファイル拡張子	.csv
項目区切り	半角カンマ
項目囲い	なし
エスケープ処理	なし
改行コード	LF または CRLF
文字コード	UTF-8 または Shift-JIS
ヘッダー行数	任意

## データ列項目の指定

#	含むべき列	必須	内容
1	キー	Y	どの進捗単位のデータかを示すキー列の位置 複数列での複合キー指定可
2	作業日		作業日を含む列の位置
3	計上日		計上日を含む列の位置（同一作業日の工程の進捗を、計上日別に分けて取得したい場合に利用。考慮が不要な場合は作業日と同一の列を指定）
4	時刻		時刻を含む列の位置
5	数量 実績		数量 実績を示す数値列の位置
6	投下工数 実績	N	投下工数実績を示す。 開始時刻列、終了時刻列を指定し、工数を算出する方式と、工数列を指定する方式が選択可能

## インプットファイルの例

開始	終了	オーダーid	ジャンル	商品	数量
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:20:00	1111	アパレル	A	70
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:30:00	1112	アパレル	A	120
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:20:00	1113	食品	C	110
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:20:00	1114	食品	B	130
2023-03-10 11:00:00	2023-03-10 11:20:00	1115	食品	C	50



## 5-13. (B) データ変換API 実績データの変換ルール

(B) データ変換APIで送ったインプットファイルを、データ取込できるように変換します。ロジメーター内での処理ですが、ファイルフォーマットの自由度を把握するために参照ください

## 変換ルール

ルールの項目		内容	例
列番号の指定	キー	キー列の位置。複数列指定可	4
	日付	日付列の位置	2
	計上日	計上日列の位置	1
	時刻	時刻列の位置	2
	数量 実績	数量 実績列の位置	6
	投下工数 実績	投下工数 実績列の位置	1,2
共通ルール	フォーマット	日付・時刻のフォーマット 登録対象となるデータの時刻が ・0:00:00~23:59:59の場合： 正規表現でフォーマットを指定可能  ・0:00:00~47:59:59の場合： フォーマットは、 「%Y-%m-%d %H:%M:%S」 の形式で固定	%Y-%m-%d %H:%M:%S
	投下工数 列タイプ	1:開始時刻列・終了時刻列を指定 2:工数値列を指定	1
	データタイプ	1:差分データとして登録 2:累計データとして登録	1
	日付変更基準時刻	作業日の切り替え基準の時刻を指定。 不要な場合はnull	null
	ヘッダ行数	ヘッダ行の行数	1
	文字コード	UTF-8 または Shift-JIS	UTF-8
	改行コード	LF または CRLF	LF

## 変換前の例

開始	終了	オーダーid	ジャンル	商品	数量
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:20:00	111	アパレル	A	70
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:30:00	112	アパレル	A	120
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:20:00	113	食品	C	110
2023-03-10 10:00:00	2023-03-10 10:20:00	114	食品	B	130
2023-03-10 11:00:00	2023-03-10 11:20:00	115	食品	C	50

変換

- (1) キー項目をもとに工程マスタIDを探索
- (2) 日付を日付列から取得
- (3) 時刻を時刻列から取得
- (4) 計上日を計上日列から取得
- (5) 数量 実績を該当列から取得
- (6) 投下工数 実績を該当列から取得
- (7) 工程マスタID、日付、計上日、時間帯で数量 実績と投下工数 実績を合計する
- (8) 更新モードを設定する

## ← キー項目-工程マスタ対応表の例

工程マスタID	キー項目	計上日設定
8338837	アパレル	なし
8338873	食品	なし

## 変換後の例

工程マスタID	日付	実績数量	数量タイプ	実績投下工数	投下工数タイプ
8338837	2023-03-10 10:30	190	1	0.8	1
8338873	2023-03-10 11:20	290	1	1.0	1

## 5-14. (B) データ変換結果の確認（画面）

ロジメーターのデータ変換画面にアクセスすることで、CSVファイルの手動アップロードと変換結果を確認できます。変換処理が完了した場合、自動で取込処理が行われます

データ変換画面

変換処理 実行結果      ステータスが完了のファイルのみを、自動で取込実施します



変換プログラム

アップロードボタン（手動）

日付	ステータス	エラー	
2023/11/27	完了		CSV取込
2023/11/27	完了		CSV取込
2023/11/09	完了		CSV取込
2023/11/09	完了		CSV取込
2023/10/12	完了		CSV取込
2023/10/11	完了		CSV取込
2023/10/05	完了		CSV取込
2023/10/02	完了		CSV取込
2023/09/30	失敗	E201: 2行目 日付フォーマットが違います	CSV取込
2023/09/30	完了		CSV取込
2023/09/29	完了		CSV取込
2023/09/29	完了		CSV取込

## 5-15. 障害発生時のリカバリ方法

進捗APIの利用で想定される障害ポイントとリカバリ方法になります。

#	障害ポイント	アクセス方法	障害内容	確認方法	リカバリ方法
1	KURANDOサービスへの接続	REST API	APIリクエストに失敗する	APIレスポンスでエラーコード・メッセージを返却される	エラーコード・メッセージを確認し、対応する
2	変換	共通	変換処理に失敗する	ロジメーター上の結果確認画面でステータスが失敗となっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E100~800番台はエラーメッセージを確認し、対応する</li> <li>• E901はKURANDOに連絡する</li> </ul>
3		共通	変換処理が実行されない	ロジメーター上の結果確認画面に、レコードが存在しない	KURANDOに連絡する
4	取込	共通	取込処理に失敗する	ロジメーター上の結果確認画面でステータスが失敗となっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>• E100~800番台はエラーメッセージを確認し、対応する</li> <li>• E901はKURANDOに連絡する</li> </ul>
5		共通	取込処理が実行されない	ロジメーター上の結果確認画面に、レコードが存在しない	KURANDOに連絡する

## (参考) Postmanを使用したCSVダウンロード

はじめに準備の「API連携用アプリケーション作成の申請」と「認可コードの取得」を行ってください  
認可コードの取得は、直接webブラウザに認可URLを入力してアクセスしてください

Postmanで入力するURLや値の最新情報に関しては、<https://api-docs.kurando.io/> を参照ください

# 認可コードによるアクセストークンの取得

The screenshot shows a Postman interface for a POST request to `https://api.kurando.io/logimeter/v3/oauth/token`. The request body is configured as `form-data` with the following parameters:

Key	Type	Value	Description
<input checked="" type="checkbox"/> <code>response_type</code>	Text	<code>code</code>	固定値
<input checked="" type="checkbox"/> <code>grant_type</code>	Text	<code>authorization_code</code>	固定値
<input checked="" type="checkbox"/> <code>client_id</code>	Text	[Redacted]	クライアントID
<input checked="" type="checkbox"/> <code>client_secret</code>	Text	[Redacted]	クライアントシークレット
<input checked="" type="checkbox"/> <code>code</code>	Text	[Redacted]	認可コード
<input checked="" type="checkbox"/> <code>redirect_uri</code>	Text	[Redacted]	コールバックURL
Key	Text	Value	Description

The response is a `200 OK` with a `JSON` body:

```
1 {
2   "access_token": [Redacted]
3   "token_type": "Bearer",
4   "expires_in": 172799,
5   "refresh_token": [Redacted]
6   "scope": "all",
7   "created_at": 1742870225
8 }
```

POST

https://api.kurando.io/logimeter/v3/oauth/token

「Body」 - 「form-data」

「API連携用アプリケーション作成の申請」と「認可コードの取得」で取得した内容を入力

- クライアントID
- クライアントシークレット
- 認可コード
- コールバックURL

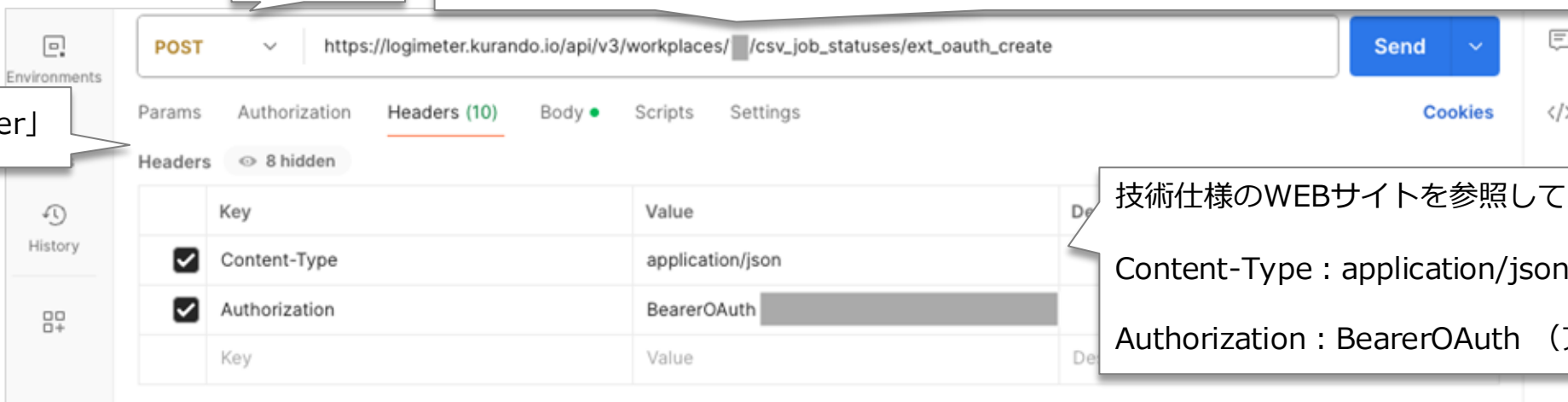
「Send」すると「Response 200 OK」が返ってくるので「Body」 - 「access\_token」を確認

# CSV作成のリクエスト

POST

https://api.kurando.io/logimeter/v3/workplaces/[workplace\_id]/csv\_job\_statuses/create

「Header」

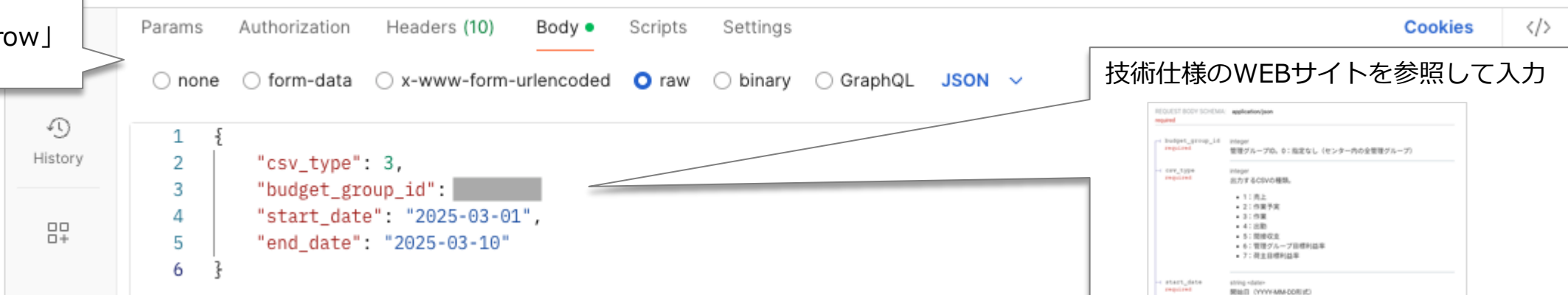


The screenshot shows the Postman interface with the Headers tab selected. The URL bar contains the endpoint. The Headers section shows two defined headers: Content-Type and Authorization.

Key	Value
Content-Type	application/json
Authorization	BearerOAuth [redacted]

技術仕様のWEBサイトを参照して入力  
Content-Type : application/json  
Authorization : BearerOAuth (アクセストークン)

「Body」 - 「row」



The screenshot shows the Postman Body tab with the 'raw' radio button selected and the content type set to 'JSON'. The body contains a JSON object with specific values for csv\_type, budget\_group\_id, start\_date, and end\_date.

```
1 {  
2   "csv_type": 3,  
3   "budget_group_id": [redacted],  
4   "start_date": "2025-03-01",  
5   "end_date": "2025-03-10"  
6 }
```

技術仕様のWEBサイトを参照して入力



The screenshot shows a portion of an API specification document. It details the request body schema for the endpoint, listing required fields like budget\_group\_id, csv\_type, start\_date, and end\_date with their respective data types and constraints.

# CSV作成のリクエスト

「Send」すると「Response 200 OK」が返ってくる



The screenshot shows the Postman interface with a successful API response. The status bar at the top indicates "200 OK" in green, with a response time of 215 ms and a size of 560 B. The response body is displayed in JSON format:

```
1 {
2   "id": 321759,
3   "csv_file_name": "activities_20250325114643.csv",
4   "budget_group_id": ██████████,
5   "status": 2,
6   "csv_type": 3,
7   "start_dt": "2025-03-01",
8   "end_dt": "2025-03-10",
9   "process_end_time": null,
10  "error_message": null
11 }
```

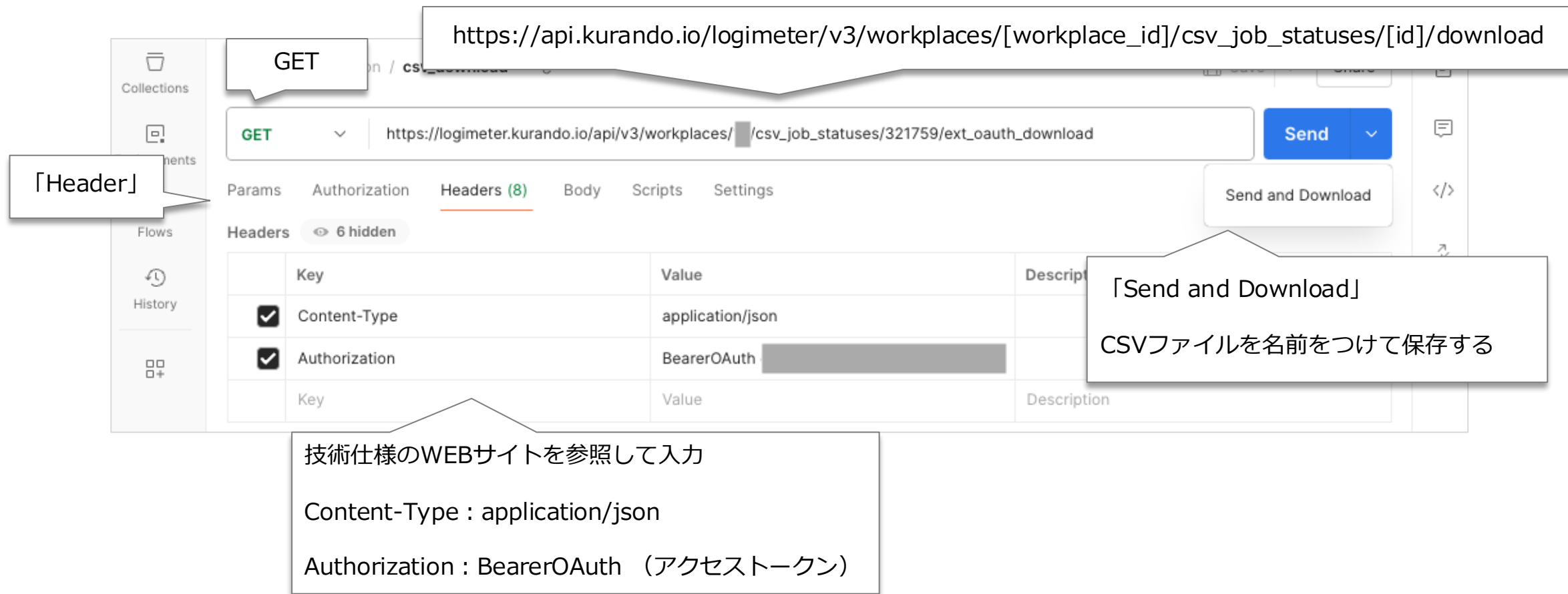
技術仕様のWEBサイトを参照して確認



The screenshot shows the "Responses" section of the API documentation, detailing the schema for the "200 作成成功" response. The schema is in JSON format:

Field	Type	Description
id	integer	作成状況ID
budget_group_id	integer	管理グループID
csv_type	integer	出力するCSVの種類
csv_file_name	string	出力するCSVファイル名
start_dt	string <date>	開始日
end_dt	string <date>	終了日
status	integer	作成状況ステータス。 • 1: 待機中 • 2: 処理中 • 3: 完了 • 4: エラーあり完了 • 5: エラー
error_message	string	エラーメッセージ
process_end_time	string <date-time>	処理完了時刻

# CSVダウンロード



GET

https://api.kurando.io/logimeter/v3/workplaces/[workplace\_id]/csv\_job\_statuses/[id]/download

GET

https://logimeter.kurando.io/api/v3/workplaces/[redacted]/csv\_job\_statuses/321759/ext\_oauth\_download

Send

Send and Download

「Header」

Headers (8)

Key	Value	Description
<input checked="" type="checkbox"/> Content-Type	application/json	
<input checked="" type="checkbox"/> Authorization	BearerOAuth [redacted]	
Key	Value	Description

「Send and Download」  
CSVファイルを名前をつけて保存する

技術仕様のWEBサイトを参照して入力

Content-Type : application/json

Authorization : BearerOAuth (アクセストークン)